

# 平成 27 年度 第一回鶴岡市予防接種対策委員会 記録

日時：平成 27 年 7 月 2 日（木）

午後 7 時～8 時 5 分

場所：にこ♥ふる 3 階 研修室

## 【出席者】

委員：鈴木 千晴、梅津 成夫、鈴木 準、岡田 恒人、佐久間 正幸、伊藤 末志、小野 俊孝

幹事：御橋 慶治

事務局：相澤 康夫、原田 真弓、金内 節子、岡部 奈緒子、加藤 早苗、石井 美喜、佐藤 直美、  
澁谷 良、長谷川 恵、佐藤 明日香、奥井 妙

## 【欠席者】

委員：安彦 忠之

オブザーバー：加賀山 誠、中野 洋 ※関係案件ないため案内なし

### 1. 開 会（全体進行：健康課長）

- ・委員の紹介と委嘱状交付
- ・相澤部長より挨拶
- ・会議が成立していることの報告。
- ・オブザーバーについては、関係案件がないため案内していないことの報告。

健康福祉部長：予防接種の根幹につながる委員会。予防接種に必要な事項を諮り、審議いただくもの。大きな事故なく予防接種事業を進めることができるのは、委員の方、医療機関の方の尽力のおかげ。安全で適切な予防接種の実施と、接種率向上に努めていきたい。

### 2. 正副会長の選出

- ・立候補なし。事務局案として、会長に小野俊孝委員、副会長に鈴木(千)委員を提案し、承認される。

### 3. 報 告（3.報告～4.協議まで進行：小野会長）

- (1) 平成 26 年度 健康被害報告について（事務局 加藤）
- (2) 平成 26 年度 予防接種実施報告について（事務局 加藤）
  - ① 乳幼児の定期予防接種の接種者数・接種率（事務局 加藤）
  - ② 「子ども予防接種週間」（事務局 加藤）
  - ③ 高齢者インフルエンザ予防接種（事務局 岡部）
  - ④ 高齢者肺炎球菌予防接種費用助成事業（事務局 岡部）
  - ⑤ 成人の風しん予防接種費用助成事業（事務局 石井）
- (3) その他（事務局 石井）

## 【 質疑応答 】

委 員：前回の委員会時であった高齢者インフルエンザ予防接種期間の前倒しという話はど  
うなったのか？

事務局：10月15日開始を予定している。

委 員：高齢者肺炎球菌予防接種、24年から26年の鶴岡市でしていたときの対象は『過去  
5年以内に接種していないもの』だったが、現在は『過去に接種したことがないもの』  
で間違いないか？

事務局：定期接種としては、過去に接種したことがある人は対象外となっている。

委 員：過去に接種したことがある人から「だめなのか？」と言われることが多い。接種歴あ  
る人、過去に接種したことがあると申告のあった人には、対象外であると答えては  
いるが……。

事務局：市でも問い合わせあったときは、定期接種の対象ではないと説明しながら、5年以  
上経過している人には、かかりつけ医に相談するようお願いしている。

委 員：自分で接種したことを認識している人にも、そのように言っているのか？

事務局：なかには接種歴ある人からの問い合わせもある。その方には定期接種対象外である  
ことをきちんと伝えている。

委 員：高齢者肺炎球菌2回目の接種をしたことあるか？

委 員：接種したことある。副反応はでる人もいれば、まったくでない人もいる。通常の1  
回目接種のほぼ変わらない。他の経験では、間違っって接種したがまったくでない  
という人もいるようだ。

委 員：高齢者肺炎球菌の案内は生涯一度しかこないのか？65歳で接種した場合、70歳で  
また案内がくるといふことはあるのか？

事務局：生涯一度限りである。

委 員：それで抗体がつくのか？

委 員：一応抗体価として5年間のデータはあるらしいが、一つ問題として接種ワクチンの  
種類がある。今の接種だとニューモバックスとなっているが、もう一つワクチンと  
してプレベナーがあり、効果として、プレベナーだと1回接種でいいとなっている。  
今後、市としてそれをどのように対応していくのか？国の指針が定まらないと対応  
難しいか？

委 員：定期接種としては、ニューモバックスだけと決められている。プレベナーは認めら  
れていない。

委 員：ただ県外ではあるが、地区によってはプレベナーの接種も認めているところがある  
と情報があつた。

委 員：ニューモバックスだと説明書に1回接種としつこい位に書いてある。

委 員：一応聞かれたときは1回でいいと答えてはいるが……。

委員：震災対応による予防接種実施人数少ないように見えるが、対象となる原発避難者はどの位いるのか？

事務局：原発避難者は住民票がないため、申請に基づいて対応している。乳幼児だと一度申請あれば続けて接種案内できるが、高齢者だと申請あったものにもみ対応している状況である。

#### 4. 協 議

(1) 平成 27 年度 予防接種実施計画について (事務局 加藤)

- ① 日本脳炎予防接種の接種勧奨 (事務局 加藤)
- ② 高齢者インフルエンザ予防接種実施計画 (事務局 岡部)
- ③ 高齢者肺炎球菌予防接種実施計画 (事務局 岡部)
- ④ 成人の風しん予防接種費用助成事業実施計画 (事務局 石井)

#### 【 質疑応答 】

委員：日本脳炎予防接種特例対象者接種状況の表において、実績部分で未接種者数はでているようだが、接種率、接種者数のデータはあるのか？

事務局：実績という表現が適切でなかったので口頭で補足させていただいたが、表はあくまで未接種者数をあげている。ただ、H9.4.2 から H10.4.1 生まれの今年度積極的接種勧奨の対象にあたる子の総人数は 1,452 名。その中で未接種者が表のとおり的人数いる。

通常接種率というと年度における接種率だが、日本脳炎特例対象者は長期にわたり段階を経て接種しているため、年度中に限られている接種率をあげていない。

委員：通知等接種勧奨を実施しているのだから、どの位接種が進んでいるか知りたかった。

委員：成人の風しん予防接種で、今年度も MR ワクチンを使用しても良いか？ 医者としては MR ワクチンを進めたいところだが、事業名に『風しん』とあり、ワクチンも足りているのに、いつまでも MR ワクチンを使用してもいいものか疑問に思った。

事務局：国としては、MR ワクチンだと両方の抗体があがるため良いとのこと。ワクチン不足もあまり考えられない。

委員：国の方針として、抗体検査をしないと風しんの予防接種を受けられないという流れは変わらないのか？ ワクチン不足も解消されたのなら、抗体検査をして抗体価の高い人をはじく必要はないと思うが……。

事務局：委員の言うとおり、抗体検査をした人の約半数がワクチン接種の該当になっていることを考えると、疑問に思うところがある。また、現在 20 代前半の高校三年生時に接種している子が、妊婦健診で抗体が低いと判定されていることが最近現場で問題になっている。接種歴で確実に 2 回接種していることが分かるため、助成対象外ということで断るしかないが、その際、どこまで自費で接種を受けたらいいか相談されることがある。

委員：子どもの接種率をきっちり維持しつつ、風しんが流行らないようにするしかない。

委員：それはどこが起点になるのか。結局、抗体価が高い人が接種を受けて、まずないと

思うが、副反応が出てしまった場合、言い訳ができない。抗体検査を受けたことが足かせになってしまうことが問題だと思う。

委員：国の方針には逆らえない。

委員：高齢者肺炎球菌、101歳以上の人、昨年度接種する機会を設けたので、今年度は対象にならないということで良いか？

事務局：はい。

## 5. その他

### (1) 国の動き（事務局）

## 6. 閉 会

健康課長：高齢者肺炎球菌、水痘の本格実施。成人の風しん接種率低下。市民に情報をきちんと伝えて受けてもらえるように一層力を入れていきたい。高齢者インフルエンザの開始時期を早めたこと等、委員会にていただいた意見をとり入れ、よりよいものにしていきたい。